

令和元年度（2019年度）

三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検・評価

三鷹市立図書館

目 次

点検・評価の実施について	1
1 数値目標に対する点検・評価	2
2 図書館活動に対する点検・評価	4
「知る」「調べる」「学ぶ」を支える図書館	4
すべての人に読書の楽しみを広げる図書館	7
市民とともに歩み、交流する図書館	9
市民の期待に応える図書館	11
3 三鷹市立図書館協議会の意見書	13

点検・評価の実施について

1 点検・評価の目的

- (1) 三鷹市立図書館（以下「図書館」という。）は、「三鷹市立図書館の基本的運営方針（以下「基本的運営方針」という。）」に基づき、具体的な数値目標及び図書館活動について点検・評価を行い、課題や取組の方向性を明確にし、めざす図書館像『人と本と情報がつながり、市民に役立つ身近な図書館』の実現をめざします。
- (2) 図書館は、図書館が行った点検・評価に対して三鷹市立図書館協議会（以下「協議会」という。）の評価・意見を聴取することにより、図書館サービスや実施する事業、図書館の管理運営に関する実績について、その課題解決や、より質の高い取組の方向性をめざします。
- (3) 点検・評価に関する報告書を作成し、広く市民に公表することで、図書館サービスの向上を図ります。

2 点検・評価の対象

基本的運営方針に掲げている①数値目標、②図書館活動に対する評価について点検・評価を実施します。

3 点検・評価の実施方法

- (1) 点検・評価は、前年度の図書館の管理運営に関する実績、図書館サービスや事業の取組状況を総括するとともに、今後の課題や今後の方向性を示すものとし、毎年度1回実施します。
- (2) 図書館活動の取組状況を取りまとめ、協議会委員と図書館事務局が意見交換を行った上で、協議会の評価・意見を聴取します。
- (3) 協議会から協議会委員の評価・意見を取りまとめた意見書を受領し、点検・評価結果とともに、広く市民に公表します。

【参考法令等】

図書館法（昭和25年法律第118号）

（運営の状況に関する評価等）

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

1 数値目標に対する点検・評価

	2018年度 実績	2019年度 実績	前年度比	目標値 (2022年度)	達成率
図書館の利用者 数(人)	861,641	854,353	△7,288	950,000	89.93
図書館の資料数 (点)	925,711	935,877	10,166	975,000	95.99
貸出点数(点)	1,656,103	1,635,422	△20,681	1,750,000	93.45
予約点数(点)	294,861	289,831	△5,030	307,000	94.41
有効登録者数 (人)	43,220	42,770	△450	48,000	89.10

※数値目標は(連携館)井の頭コミュニティ・センター図書室(以下「井の頭CC図書室」という。)の実績を含む。

■ 図書館による自己評価の実施について

点検・評価にあたっては前年度と同様に3月に来館者に対する利用者アンケートを実施し、そこで集約したご意見を踏まえて行う予定であったが、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために2月29日から3月16日まで臨時休館し、3月17日から27日までは開館したものの館内での滞在を最小限にするために利用者に提供するサービスを制限し(縮小開館)、さらに3月28日から再度臨時休館したため、アンケートが実施できなかった。そのため、今回の点検・評価は図書館による自己評価により実施している。

■ 第4次三鷹市基本計画(第2次改定)の確定に伴う目標値の変更について

令和2年3月に第4次三鷹市基本計画の第2次改定が行われ、目標指標が修正されたことに伴い、図書館の利用者数及び図書館の資料数の2022年度における目標値について、それぞれ基本計画の指標に合わせて修正を行った。

図書館の利用者数

令和元年度の利用者数は、対前年度比7,288人減(0.85%減)の854,353人となった。当該年度は10月に台風第19号による臨時休館(10月12日から13日)があったり、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、臨時休館や縮小開館を行ったり、国や都から外出の自粛が求められたりするなど、利用者の利用機会の減少が発生している状況があり、特に実績に対する影響としては年度末の臨時休館等の影響が大きいと考えられる。

3月の来館者数実績での比較では対前年度同月比48,517人減の28,334人となっており、今後、国や都の動向を踏まえ、安全に配慮した利用者サービスの平常化を円滑に推進していくことが課題となる。

図書館の資料数

資料数は全体では 935,877 点となった。そのうち図書館で直接所蔵する資料は、前年度比 1,217 点増の 752,282 点となっている。新刊図書等の購入点数は 33,368 点に上るが、三鷹市立図書館資料除籍基準に基づいて適切に除籍（33,297 点）を行ったことから若干の増に止まっている。その他井の頭 CC 図書室の実績が 898 点の増と、利用者に音楽配信サービスとして提供しているナクソス・ミュージック・ライブラリーの配信点数が増加したことにより 10,166 点の増となった。

引き続き、市民の期待に応える資料収集に努め、適切な蔵書構成の実現と図書館の資料点数の増加を図っていく。

貸出点数及び予約点数

貸出点数については、利用者数と同様に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る臨時休館等の影響が非常に大きく出ている。貸出点数は 20,681 点減の 1,635,422 点となっており、臨時休館中は原則として貸出サービスを停止していることから、3 月期の貸出点数について比較してみると、前年度 3 月期の貸出点数が 149,506 点であるのに対して当該年度は 69,857 点、79,649 点の減（△53.27%）となっている。

予約点数は 5,030 点減の 289,831 点となった。3 月期のみと比較では前年度実績が 25,524 点、当該年度実績が 13,918 点と 11,606 点の減（△45.47%）となっており、ここでも臨時休館等の影響が見て取れる。一方で通年開館を行った東部図書館では予約点数が前年実績 22,865 点から 44,044 点にほぼ倍増している。

令和 2 年度改修予定の西部図書館も含め各館の利用促進に努め、市民の役に立つ資料の収集を図り、めざす図書館像の実現に向けて取り組みを行う。

有効登録者数

有効登録者（過去 2 年以内に貸出実績がある利用者）数は、令和元年度実績で対前年度比 450 人減の 42,770 人となり、昨年度から引き続き微減傾向にある。3 月の新規登録者数が対前年度比 202 人減の 284 人になる（41.56%の減）など臨時休館等の影響もあるなか、東部図書館の通年開館も始まったことから影響の最小化を図ることができた。

市立図書館、井の頭 CC 図書館、ひまわり号によるきめ細かな図書館サービス網やサービス内容の広報の実施、ひまわり号のステーションの見直し等を行い、新規利用の獲得に努めるとともに、市民の身近にある図書館として更なる資料の充実を図り、活発な図書館活動の展開に努めていく。

2 図書館活動に対する点検・評価

「知る」「調べる」「学ぶ」を支える図書館

事業項目	図書館施設の整備
取組内容	・市民が快適に利用できる施設・設備の維持及び滞在・交流型施設へのリニューアル
取組状況	令和2年度に予定している西部図書館の改修工事の実施に向けて、実施設計を行い、席の増設やティーンズ向けのコーナーの設置を盛り込んだ。三鷹図書館の昇降機設備更新工事については建築基準法適合状況調査を行い、是正が必要な施設及び防火設備等の改修を実施して、令和2年度の工事実施に向けた環境整備を行った。

事業項目	図書館サービス網の整備
取組内容	・井の頭 CC 図書室との連携及び移動図書館ひまわり号の有効活用による市民の読書活動を支える図書館
取組状況	<p>井の頭 CC 図書室の実績としては、利用者数が対前年度比 878 人減の 57,370 人、貸出点数が 3,456 点減の 105,654 点、予約点数が 655 点減の 20,612 点になり、898 点増の 47,665 点になった資料数と 130 人増の 992 人になった有効登録者数以外は昨年度より実績数が低い。前年度は東部図書館リニューアルに伴う東部図書館の長期休館があり、東部図書館を利用できなかった利用者が井の頭 CC 図書室や南部図書館を利用していたことが想定できるため、今年度は利用動向が元に戻ったことによる減が発生しているものと考えられる。ちなみに東部図書館は利用者数が 61,606 人増の 135,221 人、貸出点数が 129,855 点増の 279,985 点、予約数が 21,179 点増の 44,044 点となっている。井の頭 CC 図書室とは、全館共通展示への協力などを通して、その連携を深めてきており、今後も、井の頭 CC 図書室の独自性を尊重するとともに、更なる利用の拡大に向けて市立図書館との連携を強化していく。</p> <p>移動図書館ひまわり号は前年度の東部図書館の長期休館の際利用実績を伸ばした「三鷹台団地」「はなかいどう」の 2 ステーションの貸出点数がそれぞれ 49.80%の減、30.12%の減となっているが、平成 29 年度実績と比較すると 12.69% (197 点)、27.40% (445 点) の増となっており、一定の利用者の獲得に成功していると言える。一方で臨時休館に伴う運行休止があったため、移動図書館車全体としての利用者数が前年度実績 9,985 人から 8,218 人に減る (平成 30 年度の東部代替実績を除く) など、17.70%の減となっている。</p> <p>今後ステーションの見直しを図るなど、一層の利用者満足度の向上を目指す。</p>

事業項目	図書館資料の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料収集方針に基づく図書館資料の充実と内容の充実 ・電子書籍の導入に向けた検討
取組状況	<p>前年度に引き続き、三鷹市立図書館資料収集方針及び三鷹市立図書館資料収集基準に基づく選書・購入・保存に取り組んだ。また、資料の老朽化（汚損・破損含む。）、内容に改訂等のある資料の除籍を行い、適切な状態の資料や最新の情報の提供に努め、市民の課題解決、豊かな読書活動の推進に努めた。これからも、図書館資料数の増加と内容の充実に取り組んでいく。</p> <p>電子書籍の導入については、図書館システムの更新後の課題として、多面的な調査研究を進めていく。</p>

事業項目	地域資料及び行政資料の収集
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料及び行政資料の網羅的な収集及び保存 ・地域資料などのデジタル化の推進
取組状況	<p>行政資料や地域資料については、平成 30 年度に確立した庁内連携手法（相談・情報課で集約し図書館に送付する。）による寄贈資料の受入や購入等により、300 件以上の収集を行った。引き続き三鷹市立図書館資料収集方針等に基づき収集を行う。また、情報発信として、資料室資料を活用した「三鷹に関する展示」を三鷹図書館 1 階ロビーで定期的に行っている（3 ヶ月に 1 度入替）。</p>

事業項目	開館日及び開館時間の検討
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての世代が利用できる開館日及び開館時間の検討
取組状況	<p>開館時間の延長を検討するにあたり、対象館を現在 17 時で閉館している東部・西部・南部の各図書館とした場合に、利用者のニーズや開館の効果を把握するための夜間開館の試行的実施に向けた方向性の調整や、方法について検討をはじめた。</p>

事業項目	レファレンスサービスの充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス資料の充実 ・的確なレファレンスサービスの実施
取組状況	<p>三鷹図書館資料室を中心に、レファレンス資料の充実に向け選書・購入を進めた。また、全館でカウンターへの相談を促す共通マークの掲示を行い、レファレンスサービスの利用について周知と促進に努めた。引き続き、市民の相談に対応できる人財の育成のため、継続的・計画的に取り組みを進め、更なる資料の充実に努める。</p>

事業項目	情報通信技術（ICT）の進展に対応するサービスの提供
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性を向上させる新たなサービスの研究 ・ インターネット端末及びデータベース端末等の利用促進
取組状況	<p>引き続きナクソス・ミュージック・ライブラリーや商用データベース、国会図書館デジタル化資料送信サービス等の提供を行った。図書館システムの更新に向けて、企画提案を実施し、令和元年7月に第一位事業者を選定、システム更新についての打ち合わせを開始した。11月にはシステム設計及び構築等業務委託契約の契約締結を行い、3月には令和2年9月のシステム稼働に必要な運用及び保守等役務提供業務について契約を締結した。</p> <p>また、令和2年度のシステム更新に伴い利用できなくなる三鷹市立図書館スマートフォンアプリの利用者向けに、蓄積した読書ノートデータ出力用ソフトウェアの開発を行った。今後はスマートフォンアプリの提供終了についての告知やデータ出力環境の提供を行う。図書館システム本体についてはカスタマイズ項目の確認や研修などを実施して、滞りなくシステム移行を行うことが課題である。</p>

すべての人に読書の楽しみを広げる図書館

事業項目	読書の楽しみを提供する図書館活動の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・講習会、図書館フェスタ・みんなみフェスタなど読書の楽しみを広げる事業の実施 ・多様なテーマの展示図書の実施
取組状況	<p>太宰治生誕 110 周年記念展示や、国立天文台の協力による天文関連の展示（みたか太陽系ウォーク関連展示）を行ったほか、くまの子ウーフ出版 50 周年を記念した「神沢利子さんのおくりもの」展や神沢利子さんのお誕生日会などを実施した。また、本との出会いの場を創出するため、各館で特色のあるテーマ図書の展示に取り組んだ。更には、企画経営課、高齢者支援課、健康推進課など関係部署と共催し、展示及び図書コーナーを設置するほか、関係部署が開催するイベントに図書館資料の貸出を行い（東京空襲に関する資料の貸出など）、多様な場面で本に触れる機会を提供した。</p> <p>三鷹図書館、南部図書館ではフェスタを開催し、人と人、人と本がつながる契機を創出した。</p> <p>三鷹市文庫連絡会と共催したイベントとしては、『埼玉の翔んでる学校司書対談「YA のための図書館づくり 35 年」』や作家ほしおさなえさんを迎えて「物語の生まれる場所」の講演会などを実施した。その他、「わん！だふる読書体験」や「あなたの好きな本教えて！」、YA 向け資料に対する POP 大賞の開催など、市民の読書に関する関心を高め、親しむ活動を推進した。</p> <p>※YA（ヤングアダルト）：13 歳から 19 歳、“若い大人” という意味でつかわれる。</p>

事業項目	すべての人に届くサービスの充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館ひまわり号の巡回 ・配達サービスの実施 ・対面朗読サービスの実施 ・大活字本や D A I S Y 図書などの充実
取組状況	<p>移動図書館ひまわり号は、対前年度比で貸出者数 1,767 人減の 8,218 人、貸出点数 8,968 点減の 32,243 点となり実績は減少したが、これは東部図書館の改修工事が終了し、長期休館による影響が減少したことにより実績が平常化したものと考えられる。配達サービスの実績は、登録者 4 人（前年度 3 人。以下同じ。）、配達回数 19 回（14 回）、貸出点数 59 点（36 点）と、前年の利用数から着実に伸びている。障がい者サービスの認知度を広げるため、リーフレット「読書サポートサービス」を地域包括支援センター、おやこひろばなど関係部署や関係施設に設置するなど、当該サービスの対象者だけでなく、サービス対象者の身近に生活する市民に対する情報発信を強化した。また、三鷹図書館では 12 月に障がい者サービスの内容紹介や機器の体験ができる展示を初開催した。</p>

事業項目	『みたか子ども読書プラン 2022』の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童書、絵本、紙芝居、ヤングアダルト図書などの資料数の拡充及び内容の充実 ・子ども向け読書活動推進事業の実施 ・「中学生・高校生世代」向け読書活動推進事業の実施
取組状況	<p>各年代向けの新刊書を収集基準に沿って購入し、蔵書数を増やした。長年読み継がれている本がよい状態で子どもの手が届くよう、買替を積極的に行った。除籍図書のうち状態の良いものは、学校や学童保育所、幼稚園、保育園など延べ 43 団体にリサイクル図書として 4,743 冊を提供し、各施設で読書環境の充実に役立ていただいた。引き続きバランス良い蔵書構成に留意していく。</p> <p>乳幼児向けの読書活動の啓発では、「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」で民生・児童委員による絵本配付（ブックスタート事業）を継続実施したほか、健康推進課が開催する妊婦を対象とした母親学級で妊娠期及び出産後の図書館活用法の紹介を継続的に行った。</p> <p>図書館に来館する子ども向けに、おはなし会（年間開催 145 回、1,826 人参加）、科学あそび（2 回開催、64 人参加）、乳児向け人形劇「あらどこだ」（60 人参加）、「わん！だふる読書体験」（年間 9 回開催、91 人参加）の開催など、子どもが感動、知る喜びを刺激する事業を実施した。</p> <p>出版 50 周年を迎えた「くまの子ウーフ」をテーマに「神沢利子さんのおくりもの展」を実施した。それに関連して、作者の神沢利子さんの 96 歳お誕生日会、ウーフ型カードケース作成ワークショップ、お誕生日会の飾りづくり企画などを実施したことで子どもたちの関心が高まり、「おくりもの」展の展示会場には子どもからのメッセージが多く寄せられた。その他小学校等で読み聞かせを始める方向けの入門講座（参加 40 人）、講座「科学の本っておもしろい！」（参加 42 人）などを開催した。講座開催後のアンケートからは、役に立つ内容と好評を得ている。</p> <p>「中学生・高校生世代」向け読書活動推進事業では「みたかとしょかん図書部！」の部員が、テーマ図書の展示、POP の作成、館内掲示物の作成などの広報活動、ビブリオバトルなど、自ら企画し活発に活動した。ゼロ歳から 18 歳を対象とした図書館資料の充実に努め、資料総数は 1,430 点増の 239,834 点となったが、中期目標 240,000 点を達成することはできなかった。</p> <p>学校、学校図書館との連携を強化するために、学校図書館・市立図書館連携に関する連絡会を開催するほか、学校図書館向けの「学校支援セット」の種類や数を増やし、調べ学習用図書の充実に取り組んだ。</p> <p>健康推進課と協働し、母子手帳に三鷹市立図書館の取組の紹介と赤ちゃん・子どもとつくる絵本の思い出を記録できるページを追加した。また、記録を追加するための用紙を図書館で配布した。</p>

市民とともに歩み、交流する図書館

事業項目	図書館サポーターの養成と活動の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の充実及び活躍の場の拡充 ・協働と交流の活動の推進
取組状況	三鷹図書館の図書館サポーター、南部図書館みんなみサポーターなど定期的に活発な活動を行った。また、西部図書館でも令和2年度のサポーター設立に向けて9月と10月にサポーター懇談会を実施した。

事業項目	ボランティアの育成と活動の支援
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア向け講演会及び講習会の実施 ・活動する場の提供と連携事業の実施
取組状況	<p>障がい者向けサービスで活動するボランティアに対して音訳ボランティア講座を実施した。</p> <p>おはなし会などで活動するボランティアに対しては、おはなし会の選書の幅を広げるため、科学読み物をテーマにスキルアップ講座を開催した。</p>

事業項目	「みたかとしょかん図書部！」の活動の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル、交流イベントの企画・運営 ・同世代への情報発信
取組状況	中学生から20歳までの26人の部員で構成される「みたかとしょかん図書部！」の部員が、中学・高校生に向けたテーマ図書の展示、おすすめ図書のPOPや館内掲示物の作成などの広報活動、図書館フェスタ内で実施したビブリオバトルや図書館クエストの企画・実施、おはなし会の企画運営などを主体的に行った。

事業項目	市民団体との連携と活動の支援
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三鷹市文庫連絡会との協働事業の実施 ・ボランティア団体の活動紹介
取組状況	当該年度においても三鷹市文庫連絡会と連携し、多様な講師を招いて、石井桃子映画上映と監督のお話、文学作家の講演、高校図書館司書の取組などの講演を共催した。作家ほしおさなえさんの講演会「物語の生まれる場所」では、講師の文学作家にお話を伺いながら、本の内容に合わせ、市内業者の協力のもと活版印刷体験を提供した。

事業項目	市民との協働と交流による事業の推進
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加型事業の充実 ・ 人と人が交流する事業の充実
取組状況	<p>図書館サポーター（三鷹図書館、南部図書館みんなみ、東部図書館）との協働事業では、フェスタやガーデンカフェの開催、おはなし会、本の修理など多岐にわたる事業を推進した。また、「みたかとしょかん図書部！」が企画運営したビブリオバトルは、部員以外の市民も参加して行われた。それぞれの事業は、これまでの実績を踏まえ、より参加者の視点に立ち、人と人が交流する機会を作り出し、参加者からも高い評価を得ることができた。また、昨年度に引き続き地域で活動するボランティアや大成高校の生徒の協力を得たイベント（ハンドベル演奏会）を開催し、市民参加型事業の充実を図った。図書館サポーターのおはなしどんどこは、その技術を生かし、保育園や学童保育所などへ積極的にアウトリーチ活動にも取り組んだ。</p>

市民の期待に応える図書館

事業項目	図書館サービス網の更なる充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・井の頭コミュニティ・センター図書室との協働による読書活動の推進 ・移動図書館ひまわり号の巡回ステーション及び巡回予定の継続的な見直し
取組状況	<p>連携を開始し3年目を迎えた井の頭 CC 図書室とは連絡調整会議を開催して、情報や課題を共有し、図書館（室）サービスの向上に努めた。また、三鷹市立図書館所蔵資料を貸し出して実施する予定だった「神沢利子さんのおくりもの」のミニ展示は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の影響により中止となった。三鷹市の関係部署と市立図書館で行う展示の連動開催や、子ども向け読書推進展示（「あなたの好きな本教えて！」）を井の頭 CC 図書室でも実施した。</p> <p>移動図書館ひまわり号の巡回については、各巡回ステーションの利用実態に合わせ、積載する資料を積み替えるなど、きめ細かなサービスを提供することに努めた。また、施設閉鎖に伴い利用者の見込めなくなったどんぐり山ステーションに替わる巡回ステーションについて検討を進める。</p>

事業項目	市民のニーズに対応する人財の育成
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識の習得に向けた職場研修の実施 ・外部機関による実務研修への派遣 ・司書資格取得のための支援
取組状況	<p>利用者対応のスキルアップを目的とし、職場研修として接遇研修（9月）、高齢者支援課による高齢者（認知症）対応研修（1月）を開催した。また、外部機関が開催する実務研修、講演会にも積極的に職員を派遣した。図書館職員としての必要な知識を習得し、司書資格取得のため明治大学が開催する司書講習に職員1人を派遣し、司書資格を取得した。</p> <p>引き続き、職場内研修（OJT）に加え、職場研修、派遣研修を活用し、継続的・計画的に人財育成に取り組んでいく。</p>

事業項目	学校図書館との連携
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・合同研修の実施 ・リサイクル図書の提供
取組状況	<p>学校図書館司書と市立図書館との連携に向けた連絡会（6月）を開催するとともに、日常的に選書や資料の活用について連携し、学校図書館の活性化に努めた。また、リサイクル図書を提供（2,111冊）し、調べ学習用図書資料の充実に努めた。三鷹図書館、西部図書館では、学校での読書活動の紹介展示（連雀学園しおりコンテスト、おおさわ</p>

	学園読書活動の紹介展示) を継続して行った。今後も、児童・生徒の読書活動の推進、読書環境の整備に向け、連携を深めていく。
--	--

事業項目	関係部署及び関係団体との連携
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共催による事業や企画展示の実施 ・ 出前型事業の実施
取組状況	<p>企画経営課、高齢者支援課、健康推進課などの関係部署と連携し、共催による企画展示、図書コーナーを設置した。健康推進課が開催する妊婦を対象とした母親学級では、妊娠期から出産後の図書館活用法の紹介を行うなど、出前型事業の拡充に取り組んだ。また、子ども家庭支援センターすくすくひろばでの出前図書館にここや、子ども育成課による「乳児家庭全戸訪問事業」のなかでのブックスタート絵本の配付を継続して行った。更に、絵本パック（市内の子育て支援施設等に設置する児童担当が選んだ絵本セット）のメンテナンスを行い、子どもたちが絵本を手にすることができる取り組みを推進した。引き続き、関係部署と連携し、市民の期待に応える取組を推進する。</p>

事業項目	情報発信の充実
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な媒体での情報発信 ・ 関係部署等との連携による情報発信
取組状況	<p>図書館の事業等について広報みたか、市及び図書館ホームページ、図書館だより（年4回）、メールマガジン（月1回発行11回、臨時号4回）などで情報発信するほか、関係機関にポスター掲示、チラシ設置を積極的に行った。更に多くの媒体を活用するとともに、市民が身近に利用する施設にも広報依頼するなど、多様な媒体及び手法により積極的な情報の発信に努めていく。</p>

事業項目	点検・評価の推進と利用者意見の収集
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者懇談会の開催 ・ 利用者アンケートの実施
取組状況	<p>平成30年度の数値目標及び図書館活動に対する点検・評価を実施し、三鷹市立図書館協議会の意見を付して教育委員会で審議し、その結果を公表した。</p> <p>利用者アンケートについて、連携館である井の頭CC図書室でも実施できるように、三鷹市井の頭地区住民協議会と調整を図っていたが、臨時休館等により、アンケートは実施できなかった。</p>

『三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく

点検・評価 令和元年度』に対する意見書

第20期三鷹市立図書館協議会

第20期三鷹市立図書館協議会は、令和2年6月の図書館協議会定例会において『三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検・評価 令和元年度』について意見交換を行い本意見書をまとめた。なお、5月は新型コロナウイルス感染症に伴う休館のため書面により協議を行った。

1. 全体的な意見

「三鷹市立図書館の基本的運営方針」に基づき適正に運営がなされ評価が実施されたことを確認した。

2. 数値目標に対する評価

数値目標に対する実績値は、残念ながら目標値と乖離している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮すれば、前年度比で増加していたと思われる指標も多く、評価することができる。3月に利用者アンケートを実施できなかったことは残念であった。可能であれば、令和2年度の早い時期に、何らかの形で実施することを検討してほしい。

3. 図書館の活動に対する評価

今年度も、多数の項目に対して、詳しく点検が実施されており評価できる。個別の事業項目に対する意見は以下のとおりである。

3.1. 「知る」「調べる」「学ぶ」を支える図書館

「図書館資料の充実」では、電子書籍導入に関し取組状況で多面的な調査研究と書かれている。しかし、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえると、より積極的な取組が求められる。「開館日及び開館時間の検討」については、効果の薄い図書館もあると考えられるが、駅前図書館については一歩踏み込んだ検討も考えられるのではないかと。「情報通信技術（ICT）の進展に対するサービスの提供」については、先に述べた電子書籍同様、今般の状況を踏まえ積極的な取り組みを求めたい。

3.2. すべての人に読書の楽しみを広げる図書館

「読書の楽しみを提供する図書館活動の充実」「すべての人に届くサービスの充実」では、多彩なプログラムが実施されており評価できる。「みたか子ども読書プラン2022の推進」の中高校生世代に対する利用促進については、他自治体での実践を踏まえ新たな方法も試みてほしい。

3.3. 市民とともに歩み、交流する図書館

「市民との協働と交流による事業の推進」では充実した取り組みが行われた。今後、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、こうした市民参加型の事業をどのように実現していくかは大きな課題である。図書館協議会としても知恵を出していきたい。

3.4. 市民の期待に応える図書館

「図書館サービス網の更なる充実」に井の頭コミュニティ・センター図書室の記載があるが、

他のコミュニティ・センター図書室への展開も視野に入れてはどうか。積極的な取り組みを期待したい。また、「情報発信の充実」に関して、昨年度は、『広報みたか』に繰り返し図書館の取り組みが掲載された。このことが、多くの市民の目に触れ、新たな利用者獲得につながったと考えられる。今後も同様の取り組みを期待する。

4. 今後の活動への要望

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後、長期化が予想される。長期休館という想定外の事態によって浮き彫りになった課題を洗い出し、今後にも備えてもらいたい。